

	戦略上の重要性(アジア重視)	グローバルな課題配慮	援助量	比較優位(人材・情報等)	その他	結論
A委員		・貧困、平和構築等グローバルな課題に目配りが必要 ・これら諸課題解決のために重要な国を策定すべし	・我が国の援助シェア ・援助量も重要だが、援助量の決定は計画が先ありき	比較優位は重要だが、柔軟に人材育成・情報収集を図り、戦略性を持たせることが重要		アジア2カ国、アフリカ・中東、中南米から1カ国
B委員		アジア重視と我が国ODAのグローバルな性格のバランスを重視	・援助量 ・我が国の援助シェア		被援助国の発展段階考慮	アジア2カ国、ラ米・アフリカから1カ国(計4カ国も可)
C委員		・「日本の生存」(経済関係、エネルギー等を考慮) ・「世界の中の日本」(人道、民主化、人権等を考慮)				
D委員	戦略上の重要性		我が国援助の影響力			
E委員	アジア地域では援助量を重視  域内波及	最貧国、重債務国の存在	援助量		被援助国の発展段階(国造り)	アジア以外から最低1カ国を選定
F委員	狭義の国益(二国間関係)  国際開発政策への積極的関与	グローバルな課題への貢献	・援助量 我が国の援助シェア	・我が国人材・情報充実	新規と既定をほぼ同等に取り扱う	
G委員	アジア地域重視		援助量(増分主義避けるべき、戦略性要検討)	アジア重視を前提に比較優位を重視	過大な我が国援助は回避すべき	
H委員		グローバルな課題配慮  開発支援の視点重視			・オーナーシップ重視	事務局案のウズベキスタンとモンゴルの入れ替え。中国、アフリカ1国、中南米1国の見直し
I委員	アジア地域重視	グローバルな課題配慮	援助量			アジア地域以外を含める
J委員	アジア地域重視			比較優位を重視		
K委員	日本およびアジア地域の安全と繁栄の確保にとっての重要性					
L委員	東アジア重視		我が国援助の影響力		事務局が案を作成すべき	
M委員	戦略的重要性		援助量		策定準備状況要考慮	